

道

Vol.1

2021年5月発行
発行元: 特定医療法人社団 春日会 黒木記念病院
リハビリテーション部 生活期リハビリテーション課
担当: 山村、重光、川野

〈訪問リハビリテーションの紹介とタイトルの由来〉

黒木記念病院訪問リハビリテーションは現在、理学療法士4名、作業療法士2名、言語聴覚療法士1名で活動しています。在宅で困っている事やご本人様のやりたい事、出来るようになりたい事、ご家族様に向けた支援などを中心に関わらせて頂いています。

私たちは利用者様やそのご家族様の、これまで大切にしてきた生活や、時間、価値観などを理解し、共有したいと思っています。そして、病気や怪我により支援が必要となった今をともに歩み、これから先もその人らしい生き方を、人生を、歩んでいっていただきたいという思いを込めて『道』というタイトルをつけました。これまでも、これからも、同じ方向を向いて進んでいきましょう！

★メンバー紹介★

個性豊かなメンバーで
頑張っています♪

理学療法士の山村梢です。
5人(3男2女)のおかあちゃんをしています。毎日、気合いで頑張っています!!よろしくお願いします。

理学療法士の玉井香葉子です。
大分市内から毎日通勤しています。休みの日は夫の美容室の掃除を頑張っています。

言語聴覚士の重光早です。
よく「そうさん、はやさん」と言われますが「さき」と読みます。皆さん覚えてくださいね。



作業療法士の川野美樹です。
自宅で過ごす時間が増えてテレビ、ゲームをすることが増えました。よろしくお願いします。

作業療法士の平岡淳也です。
2児の父です。休みの日は子どもたちと遊んでもらっています! よろしくお祈りします。

理学療法士の江崎龍馬です。
こんなご時世です。一緒に運動不足を解消しましょう!

理学療法士の大野修平です。最近では行けていませんが、冬はスノーボードをしに広島に行ったりしていました。皆さんとリハビリができる事をお待ちしています。

訪問リハビリテーションの提供地域

北は日出町(川崎付近)
西は別府IC手前(扇山付近)
南は別大国道手前(浜脇付近)

現在は上記のエリアまで訪問していますが、その他の地域も可能な場合がありますので、まずはご相談ください。



感染症対策もしっかりと!

当院で提供している訪問リハビリテーションの種類

よく、リハビリという言葉を知ることがあると思いますが、リハビリにも種類があることをご存知でしょうか? 私たちは3職種で構成されています。3職種には、**理学療法・作業療法・言語聴覚療法**があります。私たちはそれぞれ、専門とするリハビリテーションを提供しています。分かりやすく紹介していきます♪それでは、Let'sスタート☆

理学療法とは?

一般的に「マッサージをしてくれる人」「運動を教えてくれる人」というイメージが強いのでは?

理学療法とは、病気、怪我、障害、加齢などによって**運動機能が低下**した状態の方・またはその**予防**が必要な方に対し、身体機能の維持・向上を目的として、運動や体操、物理機器を用いた治療を行うことをいいます。

当院の訪問リハビリではご自宅・入所施設において、その方の身体機能の維持・向上を基本としながら、生活の質の向上を図ることを目的として、運動療法や自主トレーニング指導、動作練習などを行います。また職業復帰や趣味活動、社会参加などに必要な機能・基本動作に対してもアプローチを行っています。

自分らしく生き活きと生活を続けられるよう、一緒に頑張ってください!



作業療法とは?

作業療法士について、よく理学療法士と何が違うんですか? 作業って何ですか? と聞かれることが。そもそも作業療法の「作業」って? とされている方も多いと思います。「作業」には幅広い活動が含まれています。食べたり、入浴したり、仕事をしたり、遊んだり、買い物をしたり、料理をしたり……。人の**日常生活に関わる全ての活動を「作業」と呼びます。**

障害などによって、それらを行うことが難しくなっている人を対象に、作業療法士がリハビリテーションのプログラムをつくり、**「作業」そのものを練習**したり、**心身の機能の回復や維持の手段として「作業」を行う**ことが作業療法です。

訪問リハビリテーションでは、実際に入浴動作の練習や調理訓練、家事動作の練習を行っている方もいらっしゃいます。出来るようになりたいこと、行いたいことなどご支援させていただければと思います。

言語聴覚療法とは?

リハビリテーションの中でも言語聴覚療法については、理学療法・作業療法と比べ歴史も浅く知らない方も多くいらっしゃると思います。言語聴覚士とは、話したり・食べることが難しくなった方々に必要なリハビリテーションを提供し、より良い生活ができるよう支援をしていく職業です。

失語症:
言葉が出てこない
話が理解できない
文字が読めない

構音障害:
舌や口の筋力が低下し言葉がはっきりしない

嚥下障害:
上手に嚥めない・飲み込めない
むせることが多い

訪問リハビリの言語聴覚士はこうした問題の対処法を見出すために、評価を行い、必要に応じて言語訓練や医師や歯科医師の指示のもと嚥下訓練も行います。また自主訓練の指導、助言、その他の援助を行います。

営業日: 月～土曜日(祝日・盆・年末年始はお休みです) 窓口: 江崎龍馬、平岡淳也
TEL: 090-6291-9665(訪問リハ直通)/0977-67-1211(黒木記念病院)